## 平成 23 年度 事務事業事後評価調書 (平成 22 年度事業)

整理番号 10 - 20

## 1 事務事業の表示

該当 事務事業名 雄武町高齢者等住宅改修支援事業 担当課名 町有施設整備室 担当係名 建築係 評 係長 価 者 職名 室長 職名 管理職 作成者 氏名 大場利昭 氏名 宇野安久 町内に居住している者及び今後居住しようとしている者のう 全体計画 ち、満65歳以上の高齢者等世帯で高齢者等に対応した住宅 (平成 20 年度~ 22 年度) の改修を行う者に対し、住宅改修工事費の一部を補助する事 国·道支出金 5,879 千円 業であります。 事業の概要 事 地方債 千円 その他 千円 費 一般財源 7,186 千円 事業費計 13,065 千円 実 施 方 法 直営 民間委託 その他 第5期総合計 Α 画(前期) 非登載事業 優先度 登載事業 政 策 標 ぬくもり・雄武~保健・医療・福祉の充実~ 目 本 施 策 高齢者支援の充実 事業の位置付け 位 施 策 生活支援の充実 事務事業の種類 自治事務 法定受託事務 その他計画・根拠等 実施年度 20年度(実績) 21年度(実績) 22年度(実績) 23年度(見込) 24年度(計画) 国·道支出金 1,895 千円 930 千円 2,293 千円 千円 千円 千円 千円 千円 地 方 債 千円 千円 その他財源 千円 千円 千円 千円 千円 費 雄武町負担額 3,927 千円 1,219 千円 3,494 千円 千円 千円 (一般財源)

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

5,822 千円

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成 論上の成果指標)	状況を最も	端的に表す理	
「抱える課題や ニーズは」	高齢化社会における在宅福祉の急増	利用者件数の維持			
- 7161		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
	高齢者等にとって居住の安定が図られ ることによる自立した安全な生活	申請件数の実績	目標年度	平成22年度	
【どのような状態 になることを目指			目標値	22	
したのか(意図)】			実績値	22	
			達成度	100.0 %	
【その結果、どの ような成果を実現	在宅福祉の拡充で、高齢者等の居住安 定と家族の介護支援が図られる。		目標年度		
			目標値		
したいか】 成果 = 目的			実 績 値		
/戏未 - 白町			達成度	%	
内容(どのような手段で何を行ったか)					
社会資本整備総 国土交通省所管の社会資本整備総合交付金事業として、交付金の導入を図り、町民に対し 合交付金の活用 事業の普及を図った。					

2,149 千円

5,787 千円

千円

千円

3	事務事業の評価(Check)	
	事物事業の必要性(MTロー	

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ	・社会情勢に照らして妥当か	、町が担う必要があるか。	当該事務事業
を実施しない場	合の支障、既存事務事業との	D機能重複や見直しによ	る対応可能性)

(1)争扬争未以必		<b>1努に思らして女ヨか、町が担り</b> 障、既存事務事業との機能重複 <sup>・</sup>				
<b>必要</b> 必要/概ね必要/ 課題あり	義務的なもの	が急務となっていることから、高幽	齢化社会に対応した住環境づくり 齢者の住生活の安定及び向上の 支援することは町が担う必要があ			
	性(期待する効果が得ら	 れたか)				
有効	設定した目標値の達成状況	<u> </u>				
	達成   ほぼ達成	当事業の利用者件数について! る。	は、事業として成果が得られてい			
有効/概ね有効/ 課題あり	下回る					
(3)事務事業の効率	性(コストに見合った効果	・ 見が得られたか、計画上のコストを	を下げる工夫をしたか)			
<b>効率的</b>	判断の理由 事業費抑制 人員削減 時間短縮・作業軽減	高齢者支援事業により、高齢者等の在宅福祉が拡充され居住の 安定が図られたことは効率的と判断する。				
的/課題あり	その他					
(4)事務事業の公平						
<b>公平</b> 公平/概ね公平/ 公平でない	判断の理由 受益者負担がある 受益者負担がない 受益が一部に偏る その他	- 高齢者の在宅福祉の拡充及び町内居住の支援策が図られたこと は公平である。				
4 総合評価【A ~ D】 A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休·廃止の検討が必要 等						
	<mark>価(一次評価)</mark> ▲	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)			
	Α					
事業が目標どおり達	<b>運成された。</b>					
今後の展開方向 (Action)						
	457					
1	終了					
平成22年度事業終	<b>∵</b> 7					
*展開方向の区分 継続/現状約	<b>推持又は拡充又は縮小又は</b>	     統合又は内容の見直し・変更	終了 休止 廃止			
5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)						